

## 会議録

|              |   |      |     |
|--------------|---|------|-----|
| 会議名          | 辰野町環境審議会  |      |     |
| 開催日時         | 平成 31 年 2 月 28 日 (木) 午後 4 時～5 時 09 分  |      |     |
| 場 所          | 役場第 7・8 会議室   |      |     |
| 出席者<br>(敬称略) | 林龍太郎、一ノ瀬保弘、宇治徳庚、<br>赤羽教良、野澤長子、真壁ゆき子、<br>秋山良雄、松田隆治、有賀勝英、<br>檀原隆宣、小澤洋俊、<br>武居保男、伊藤公一、千田茜  | 出席人数 |     |
|              |   | 委員   | 11人 |
|              |   | 事務局  | 3人  |
|              |   | 計    | 14人 |
| 欠席者<br>(敬称略) | 成瀬恵津子、宮澤晴茂、古村慎二   |      |     |
| 会議次第         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 町長あいさつ</li> <li>3. 自己紹介</li> <li>4. 会長・職務代理者選出</li> <li>5. 会長あいさつ</li> <li>6. 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 辰野町環境基本計画について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>7. 報告事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 辰野町の環境及びごみ処理状況について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>8. 閉会</li> </ol> |      |     |
| 資 料          | 資料 No.1～2   |      |     |
| 会議結果         | 審議会 会長 林龍太郎、職務代理者 小澤洋俊<br>協議事項 (1) について審議されました。   |      |     |
| 発 言 者        | 発言の内容   |      |     |
| 伊藤課長         | 開会のことば<br>14名の委嘱者、委嘱書は机上で交付式は省略。  |      |     |
| 武居町長         | あいさつ<br>この審議会は、2年の任期で昨年度任期の満了により、再任の方もいるが、改めて14名の委員を委嘱した。基本計画や環境に関する規制について諮り決めていく会議だが本来もう少し早く開  |      |     |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>催すべきと思われるが役職の終わる方は今回のみの会議となってしまうがご了承願いたい、2年間よろしく願いたい。</p> <p>環境は幅広くその中でも一番身近な問題はごみ問題。上伊那全体の可燃ごみを処理する「上伊那クリーンセンター」が、現在は仮稼働だが、3月には本格稼働を始めるところまできている。それに伴いごみの分別方法も変わり現在町内各地区で出前講座を行い、今後ごみの減量化を更に進めるよう啓発を行っていきたいと考えている。</p> <p>太陽光発電施設については、自然エネルギーを利用することで環境に配慮することになるが、地域によっては大規模開発が環境破壊につながるとか景観の悪化につながるという問題もあり、町はガイドラインはあるもののなかなかうまく運用できていないと思われる。</p> <p>水質の関係では、町内の主な河川や井戸水は現在のところ問題ない状況。</p> <p>一番大きな問題だが、湖周行政事務組合の諏訪市板沢地区への最終処分場計画問題が浮上して2年以上が経ってきている。本日もご出席いただいている反対期成同盟会の林龍太郎さんがいらっしゃいますが、町としても住民の声を大切に、将来にわたって町の環境や水をまもるため建設計画の撤回を求める姿勢。一方上伊那でも圏域内処理ということで八乙女を最終処分場としているが寿命は約20年、もうすでに次の最終処分場について動き始めている。</p> <p>今回この環境審議会ではそういった状況等を踏まえながら、現在の町の状況等もお知らせして皆さん共通認識のもとでご理解いただくということでお願い申し上げあいさつとしたい。</p> |
|            | <p>自己紹介<br/>会長・職務代理者選出</p>   |
| <p>林会長</p> | <p>あいさつ</p> <p>この環境審議会でありますけれども、大変今の時代、経済から始まって社会からいろいろな環境に対する問題がものすごく幅広く、今回私が携わっておりますけれども板沢の問題は全く環境に関係する問題であり、山の保全が水源の保全につながってくるがそれが水源に、藤の森と井出の清水に関係があるということが、昭和63年のときに町が行った、東山開発というものがあり、その関係の中で水源調査というものを岡谷と共同で行っている。こ</p>  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>の地区が塩嶺墨層という中で尾根から表面もそうだが東側、西側に傾いているが地層も墨層にたるみがあってそこに水のダムができておりこれが井出の清水にあるいは藤の森の水源につながっているというデータが当時出ている。そういうことの中で辰野にとっても命である水を守っていくとなれば当然大事な問題であるし向こうにすれば峠の向こうにという単なることではなくて本当に大事なことだということを皆さんに訴えていかなければならないが、なかなか諏訪市側には理解されないというか、聞く耳もないというか、非常に苦慮している。そういった中で環境審議会に参加させていただく中で若干でも話ができればいいということでお受けした。ただいま会長ということで大変重い責をお受けしたが、一生懸命務めさせていただくのでよろしくお願ひしたい。</p>   |
|      | <p>協議事項、進行林会長、説明事務局千田<br/> (1) 辰野町環境基本計画について<br/> (2) その他</p>   |
| 林会長  | <p>環境基本計画の見直しということで概略日程について。第五次総合計画が平成32年、その後のこれとの関係というのをもう少し話をしたほうがいいのか。第五次総合計画が町の本体だとするとそれに付随していろいろな計画がなされてくるので、それが32年までとすると33年からまた策定される、それとの整合性は。整合をしておかないと結局総合計画にはめ込む部分の環境問題については載っているの、その計画をみてやるのか一緒に平行してやるのか。前は総合計画は作るにあたって各区でそれぞれやって地区計画をあげてきてやったけれどもこれは五次の特別な場合だったけれども、その以前のは総合計画の町としての考え方とかそういうのが出ている、それを検討しながらこの環境基本計画をどういう順序で、それとどういう風に合わせるのかももう少し検討したほうがいいのかという感じがする。他の町村は結構リンクさせていると思う。こちらを先にはじめると総合計画との関係が。</p> |
| 伊藤課長 | <p>総合計画の中にこの計画をはめ込むようなイメージでいる。調整は必要と思う。</p>   |
| 檀原さん | <p>6次のときに計画を組み込むのなら2020までにしっかり審議しておかないと景観のほうも動いてたぶんそれと合わせているので、そうでなければ第6次総合計画自体が動いていかないと。これで見れば今回の第5次のをまとめながら見直しをして2020年できちっとした方向性を見てそれを元にして第6次の総</p>   |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>合計画の中に持っていけるのであれば3月までにこれをやってあと景観だとか環境、全般的な環境についてのすりあわせをして総合計画に持って行くのであれば順序としては正しいと思う。6次のを作ってからこれをやるとなれば6次の時点で辰野町で方向を決めておかなければできないわけで総合計画の中に環境のビジョンを先に作っておいてそれについてこの環境審議会をやるになってしまうので、どちらを辰野町として求めていくのか。先にこの環境でこの中でガイドライン的なものを作っておいてそれを総合計画に持ち上げてくれるのだったら事務局の話したとおりでいいのではないかと。</p>   |
| 林会長   | <p>総合計画の進め方がまだ決まってないと思う。それとすりあわせを当然していかないと。来年度一年かけてということをやるとしたらこの回数でいいのかとかいろいろ問題が出てくる。今回確かに環境審議会の中でも空き家問題とか定住移住の問題とか含まれてかなり環境審議会は間口が広い中で、検討していくのはなかなか、この計画だと2回になっているが非常にむずかしいかと。目標は来年の3月までに一応目途はつけると、あとは総合計画の進め方との調整で、最終的に冊子あるいはダイジェストの完成をいつ頃にするのかを検討する余地はあるかと思う。基本的にはこの考え方で私もいいかと思うが、今までの審議会の検討の仕方でもいいのかも含めて、早めに全体像の検討の仕方とか話し合っておいたほうがよりいいのかという感じはする。</p> |
| 一ノ瀬さん | <p>スケジュールの関係で第5次総合計画というのは32年度に見直しをするということか。</p>  |
| 千田    | <p>最終年度が32年度なので進めているのではないかと。</p>   |
| 林会長   | <p>通常は一年前から始める。</p>  |
| 一ノ瀬さん | <p>だったらそれに間に合わせるような形で基本計画は立てていったほうがいいのかと思う。</p>  |
| 林会長   | <p>すると来年の4月以降からどんどん入ってくる。33年の時には冊子ができて、配っているというようなイメージでいるけれども。そうすると今から、今年から検討を始めれば、若干時間がかかってもこの方向に進めば、それでも3月というのはちょっときついかと思う。ちょっとダブってくるかもしれないがそういう進め方だと思う。</p>   |
| 伊藤課長  | <p>事務局側で連絡調整が必要になってくる。その時点でまた問題</p>  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>点を共有していかなければならない。パブリックコメントまでたどりつけるか不安ではある。4ヶ月しかない。少し余裕を見たい。</p>  |
| 宇治町議 | <p>第5次の後期の時には地方創生あったから2年位前から総合計画やっていた。だからもう予算が立ち上がれば総合計画始まるのではないか。だから並行していくというイメージでそこですり合わせができるのではないかと思う。</p>   |
| 檀原さん | <p>あと、景観は建設水道課でこれは今の住民税務課、まちまちすぎる。産業振興課でも観光だとか何とかも。横の連絡が町の中で取れなければ自分たちも意見が言えないので、もう少し中でもんでもらいたい。どこへ出ても相手のことわからなくて進んでいるので最終的にどこですり合わせしてくれるかといえば事務局ですり合わせしてるなら会議の意味ないし、せつかく総合計画出したときも若手の人たちが集まって町を良くするために作ったというのがあったのだから、もうちょっと中の連携、横の連携をきちっとやらないと課毎で動いていて連携がまるっきりないのでそこをもうちょっとつめたときにこっちに持ってきてもらわないと、どこで動いているかわかりませんと言われたら私たちも何を言ってもいいのかわからないし、自分たちだけ突っ走っていても後ろから追ってくるものが合わなければ困るので特にその辺をしっかりといてからやってもらえれば今のような、期間が短くてもその前にすりあわせをしたものを持ってきてくれればはっきりできるし、どんなものでも計画をするんだけど評価の方法をしっかりとっておかないと結局今言ったPDCA回すといってもチェックの段階で何も、大体よかったとかうまくいっていると思うとかそういうのではなくて何%進んだとかどのくらいができたという評価をしっかりとしない限りアクションという形で最後の戻しに戻せないなのでその辺だけはすりあわせでみんなの方で決めておいてもらってここへあげてもたったら時にこういう方法でチェックしていきますけどどうですかというくらいにしないとここで集まって急に言われても、もう少し詰めてもらいたいと思う。</p> |
| 林会長  | <p>特に今やっている空き家なんかもそうだが。</p>   |
| 檀原さん | <p>みんなまちまちだから。景観だってあれだけ動いていたって景観を景観だけでやっているし、課が違うからお互いの課で何をやっているかさっぱり分からないのでは話にならない。空き家は空き家でまちづくり政策課だし、まちづくり政策課で空き家をやっても定住促進は建設水道課に行かなければいけないとか、ま</p>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>ちまちでもいいんだけど、ではその代表の人たちが1週間に1回でも1ヶ月に1回でも集まってつけあわせをしてくれればいいけれどそうでなければ今言った総合計画が最終的に動き始めたってすりあわせするのに時間がかかるきりでまた後戻りになってしまうのでその辺だけ詰めてもらいたいと思う。</p>   |
| 林会長   | <p>町内の空き家等の対策、庁内検討会というのはある。ただそれが十分機能しているかというところとご指摘のとおりあまり調整が取れていない中で、空き家も景観も基本計画には載っているがその中の連携ができてないので、ここで2回だけで検討するというのと言われてもなかなか難しいという話で、仕組みを検討しておく必要がある。</p>   |
| 伊藤課長  | <p>ご指摘いただいた部分については検討して進んでいくようにしたい。</p>  |
| 林会長   | <p>この内容でいくと来年度になるがここで終わって4月になって新しい役員の方が委嘱されてくると思うができれば早いうちに、5月か6月に第1回の会議に素案ということになるが、ちょっときついなという感じはするが、早めに進め方とかをもう少し日程的な問題も含めて検討して、予算的なものもあると思うが、やるならもう少し突っ込んで討議をするということも必要であるし、含めて早めに来年度なった早々会議を設けて進行については詰めて皆さんのご意見を聞くというようなことでよいか。</p> |
| 一ノ瀬さん | <p>スケジュールで一点、4月から5月に計画の見直し素案策定で、ワーキンググループでやっていくということか。</p>  |
| 千田    | <p>環境基本計画が幅広く環境だけではできないということでは言われたので。</p>   |
| 一ノ瀬さん | <p>素案作成の期間2ヶ月でできるか非常に不安。もうちょっとスケジュールを見直してもらって考えたほうがよい。</p>  |
| 林会長   | <p>進め方を再度、第1回目の審議会の日もそうだが、もう一度見直しについての、日程見直しとか、どの部分をやっていくのかとか、漠然としすぎているので、もう一度早急に進め方について考えていただきまた会議を開くということ。</p>  |
|       | <p>報告事項 事務局千田説明</p> <p>(1) 辰野町の環境及びごみ処理状況について</p> <p>(2) その他</p>  |
| 一ノ瀬さん | <p>河川の水質測定で、下辰野の大腸菌が高いのは何かあったのか。水量が少なかったとかそういうことか。6月と9月は異常に多い。</p>  |

|      |   |
|------|---|
|      | 6月の24万といたら危険レベル。  |
| 千田   | 下辰野水路は業者の話によると、犬や猫の糞が入ってしまったとかそういうことも考えられると聞いている。排水流入でもあがると聞いた。   |
| 伊藤課長 | 水路をたどって見たが水流は結構早い。他水路からも流入があり特定が難しい。ポイントをずらしながら経過を見ている。   |
| 林会長  | 分析は変わっていないか。  |
| 千田   | 平成29年度までは変わっていない。   |
| 林会長  | 大腸菌の基準値は。   |
| 千田   | 表の一番左に基準値が書いてある。横川川だけ基準値が違う。ほかは5000です。  |
| 林会長  | 横川川だけ50で他が5000というのは。違うのか。   |
| 千田   | 河川によって違う。   |
| 林会長  | 上伊那でごみの排出量が一番多いというのは。生ごみの減量とか堆肥化にも取り組んでいるようだがそれでも多い。  |
| 宇治町議 | 再生可能エネルギーのガイドラインの説明はまだか。小野に膨大な設置の届出が出ているということだが。ガイドラインとあるが基本計画の中では利用促進というだけだからガイドラインというものが何なのか分からない。  |
| 檀原さん | ガイドラインは平成27年に策定された、設置届と計画書と、地元説明会から始まって動いている。小野はこれで540 <sup>キロワット</sup> でやって今度1メガで、一応そういう形で動いている。そのときにはガイドラインに沿っていて排水計画から始まって、埋蔵文化財とか関係課でチェックする。ちょうど自分が始めるときガイドラインができていたのでいろいろ問題が出てくるということで合わせてもらって今景観計画のほうも太陽光のほうも一緒に、景観のほうでも太陽光のことがあって、北大出の木を伐採してやったところの件もあって景観にも合わせて。逆に景観がよければ排水計画とか災害にぶつかるところないが、大体見ただけで危なそうなところは景観も悪いし災害も起きそうなところでその辺は町のほうでもチェックしてもらって、そんな形で動いている。辰野町の場合元が畑と田んぼ、あと木を伐採するというのが関係ありガイドラインできつく言っているの、後のものはみな20 <sup>キロワット</sup> 程度だからたぶん田んぼのところか。 |

|         |   |
|---------|---|
| 一ノ瀬さん   | 表の見方を教えてほしいのだが、設置箇所に番号が入っているのは。種類というのは。   |
| 千田      | 届出の番号です。計画の番号が設置届に入っています。すみません、種類というところは太陽光です。  |
| 真壁さん    | 苦情処理関係で、ここには載っていないが町内のごみステーションで持っていったもらえないごみがあるが、非常に地域も町も頭を痛めているが何とかうまくできないか。夜そっと出していくとか、名前を書いてないとか、それが今一番環境で引っかかる。どうしたらいいか。持っていったもらえないものは町へ持っていったも結局町で分別して出しているようだし。   |
| 千田      | 衛自連の会長さんもみえています、ルールを守られていないごみは地域の役員さんにご苦労いただいているし町でも片づけをしている。排出者が分かれば注意して置いてくるが、分からないものは片付ける。上伊那広域の会議でも検討しているが解決策はなかなか見つからない状況。   |
| 林会長     | それぞれ地区には責任者がいてそれぞれ開いたりチェックして出れば町に連絡するなど対応しているが、なかなか。町内の人とは限らず通った人が出しているケースも、狙われているステーションもある。たちごっこではないが永遠の課題。  |
| 小澤職務代理者 | 環境的な部分では以前山の近くで畑が有害鳥獣の関係で作れないということで原野化してきている、アレチウリも出てきたりいろいろ問題が出るが個人のところなのでタッチできない部分がある。そういった状態、平地でもそうだがそういうところの個人所有のところをもう少し何とかできないかなというのは、山とは言えないがもう少し何かできればいいが。最近では若い方が引き継いで草を刈ったりしてもだんだんと、あと親戚が来てやっているとか、だんだんそういった方も高齢化でやれなくなるという状況で平坦部分でもそういったことがこれから問題化していくような気がする。個人所有地のことについても何とかできればいいのかという気がする。 |
| 林会長     | 基本計画には松くい虫の関係は出ていないか。結構今、箕輪町まで来ているので、環境の面でも関係してくるのかと。松本のほうはほとんど枯れているような状況見るとその辺も、松くい虫もアレチウリもそうだが若干入れておかないといけないかという気がする。   |
| 松田さん    | (文化財とは) 関係ないのですけれども、山の関係やっていて、  |



|      |   |
|------|---|
|      | <p>確認したら辰野町で5本だそうです、30年度は。29年度は2本で28年度は4本ということで中央道関係の北大出で1本、それから1本は中央道より西側のこもれば広場というか教習所との間で1本、それから真金寺の南側の尾根で1本、それから赤羽の豊南の東側というか駐在所からちょっと中へ入ったところの前崩れたところで1本、そんな風で5本確認されている。それは全部チェックしてくれてこれは確かに虫の関係で枯れたと。今は松が枯れている、おかしいというとすぐ伐採してくんじょうというか処理しておいてからそれに虫がいたかどうかというのを治験のところに持って行って調べてもらって、マツノザイセンチュウによる枯れだとなると、一本一箇所ということになる。今言われるようにどこでやっていくのかももちろん他でやっているのかもしれませんが、みんなで関心持って早めに対策していかないとえらいことになってしまうと思う。</p> |
| 林会長  | <p>担当は産業振興でやっているけどそういうのも必要と感じる。</p>   |
| 有賀さん | <p>農業委員会では土地が大体ネックになっている。中には自家野菜を作りたいという方もいるが高齢の方は要らないとかそういう問題があるので住宅の中に残ってしまうと荒廃地になってしまうがなかなかそこが難しいところ。解決策が見つからない状況。</p>   |
| 野澤さん | <p>環境審議というものがよく分からず参加していて申し訳ない。ごみのことかと思っていたがもう少し環境について勉強しておきたい。</p>   |
| 赤羽さん | <p>先ほどの不法投棄というかごみの件で出たが、大量に出たので町にお願いして処理している。少ないものは町総代が処理しているのでそんなに多くない。(不法投棄)シールは20枚までいかなかった。大量なのは一箇所に30個も出されて処理した、中身を探るわけにもいかずお願いした。</p>  |
| 秋山さん | <p>初めてでよく分からなくて、これから勉強させていただくが、いつもごみの問題はあつて思うが、私は自宅が南箕輪であちらから辰野へ通っているが、ごみステーションを見るとごみが残っていて、辰野へ来るとそういうのが多いと思う。ごみの中が汚くて、私のところの南箕輪と比べると、辰野のごみは汚いと思う。あちらはもう常会で本当に厳しくて集めるときに中におかしなものは入ったものはすぐ持って帰ってもらう活動をしている。結局そういうことが行き届いているのでごみの中もきれいですしごみの量も少ないのかなと思っている。いつもごみステーションの中に、</p>  |

|         |   |
|---------|---|
|         | <p>私の会社の近くにもあるのですけれど、放置された汚いごみがあるけれど、そういうものはほとんど私のところの南箕輪にはありません。そういうものがあると本当に厳しく常会の方でごみ出しの日に係が行って中を見ながら定期的にやるものですから、非常にそういうことで減ってくるだろうと、不法投棄というのではないかとそう思いながらいつも見ている。今日はそんな感想を持った。</p> |
| 小澤職務代理者 | <p>大変ご審議ご苦労様でした。事務局にはだいぶ宿題が出されたように思われる。スケジュールも大変かと思うがこの後4月になると人事で動いたりがあると思うがぜひ引継ぎのほうもしっかりしていただいて今日の意見を活かしていただいてまた会議のほうをやっていただければと思う。皆さん大変ご苦労様でした。ありがとうございました。</p>                       |